



防災のページ

問い合わせ 総務課 防災グループ ☎27-2481

タイムライン防災について 【その3】

コミュニティタイムラインとは？

コミュニティタイムラインとは、自治会や自主防災組織などの地域の皆さんが作り、運用する事前防災行動計画のことで、風水害(注1)の予報や河川水位情報などをもとに、災害が迫っているときに地域住民の取るべき防災行動や避難のタイミングなど、「いつ、だれが、何をするか」を定めた行動計画です。

あらかじめ災害時の行動をコミュニティタイムラインとして整理しておくことで、地域住民自らが避難行動を起こすことができます。また、計画作成過

程で防災知識の普及や危険意識の共有など、地域住民の防災力の向上につながるなどの効果が期待できます。

(注1) 風水害とは：台風や低気圧、前線にともなう大雨や暴風によって起こる災害で、大雨によって緩んだ地盤が崩れるがけ崩れや地すべり、土石流などの土砂災害も風水害と呼ばれています。

コミュニティタイムラインは何を計画するの？

自治会や自主防災組織が主体となって、地域住民が安全に避難できるよう、避難支援体制や地域が連携、協力し合って行う防災行動を計画します。

- ・ 防災情報の収集・共有は？
- ・ 避難のタイミングは？
- ・ 役場や支援団体等との連携は？
- ・ 地域内住民への情報提供は？
- ・ 地域の要配慮者等(注2)の避難支援は？
- ・ 安否の確認は？
- ・ 避難状況の報告は？

(注2) 要配慮者等とは：災害が発生した時、特に配慮や支援が必要な方をいい、高齢者、障がいのある方、乳幼児のほか、妊産婦、難病患者の方など特に配慮を要する方も対象となっています。

コミュニティタイムラインのイメージ (台風の場合)

